

—平成19年 新年「安全祈願祭」举行—

主催：新日本製鐵(株)八幡製鐵所



完全無災害を呼びかける浜本所長

新日本製鐵(株)八幡製鐵所では、北九州市八幡東区高見の高見神社において直協・労使合同の「平成 19 年 新年安全祈願祭」をさる1月5日、執り行った。

祈願祭には、新日本製鐵(株)八幡製鐵所の浜本康男所長（八幡製鐵所総括安全衛生管理者）・山本郁也副所長、吉川工業(株)八幡支店の安西雄志支店長（(社)八幡製鐵安全衛生協力会会長）、新日鐵八幡労組品川浩二組合長、ほか関係者 300 余名が参列し新年の安全を祈願した。

神事後、浜本所長は、「皆さんご安全に！ただ今、高見神社のご神前で皆さんと共に八幡製鐵所グループとしての完全無

災害を祈願し、お誓いを申し上げた。高見神社の神様も“自ら助くるものを助く”重大災害ゼロが達成できるかどうかは安全祈願すると同時に我々の実践にかかっている。今年は、重大災害ゼロをなんとしても達成したいと思う。皆さんが本当に心の底から安全を最優先するとの思いで、『仕事をていねいにきちんとやる』『せかさずあせらず、ていねいに』仕事をするを全員で実行してほしい」と挨拶を行った。

また、安西会長は、「皆さんご安全に！私たちは安全の八幡を取り戻すべく、ここ2～3年積極的な安全活動を推進してきた。今年は、なんとしても重大災害ゼロの安全目標を達成したいと思っている。安全の実力を高めるためには、ここに参列している管理監督者の皆さんが今まで以上に安全最優先を率先垂範し、一日一日の無災害を積み上げることが大切である」と挨拶を行った。その後、『仕事をていねいにきちんとやる』活動を一段と加速させ、八幡の安全の確立を願って『バッチリ行こう！』と参列者全員



「ばっちり唱和」行う安西会長

で唱和して、新年の安全祈願祭を締めくくった。



安全を誓う新日鐵社員



安全の確立を願う協力会社の皆さん